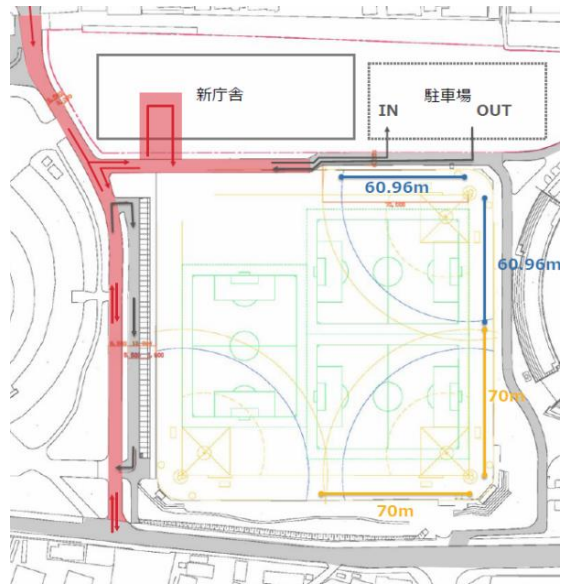
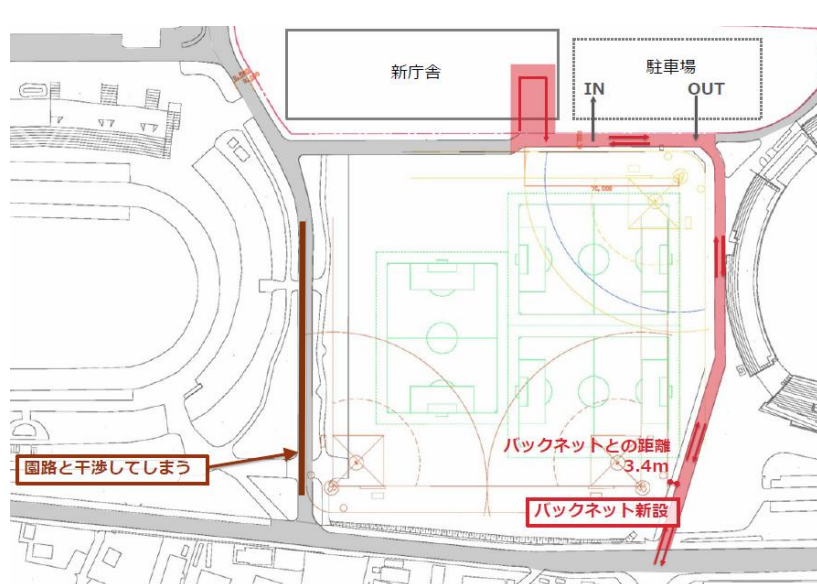


○ゾーニングについて

①市道（接道）と多目的グラウンドについて

①グラウンドへの影響	庁舎整備敷地に接する市道の整備については、既存園路を活用するパターンと野球場側で新たに整備するパターンがあるが、グラウンドへの影響（少年野球3面の確保）やコスト面（バックネット、照明、フェンス、園路の改修）を考慮し、既存の園路を活用するパターンを前提とする。 市道の整備については、交通量や公園内の安全確保を考慮し検討を進める。
○既存園路を活用するパターン 	○新たに整備するパターン 

②ゾーニングや庁舎機能に求められていること

①基本構想 (R 4)	・指定緊急避難場所（皇子山総合運動公園全体）に指定されている。 ・同等規模の代替地及び機能を確保する必要がある。 ・公園の一体性を考慮する必要がある。 ・第2種公認陸上競技場の認定への影響 ・各種大会開催時におけるバッファゾーンの確保 ・皇子山総合運動公園の機能改善・更新 ・休日の公園利用者の庁舎駐車場利用 ・庁舎棟への付加機能の検討
②詳細な調査 (R 5)	<庁舎整備エリアの条件> ・京阪大津市役所前駅や新館に近いなど、利便性を考慮した庁舎整備敷地の配置 ・多目的グラウンドについては、その利用状況に配慮した庁舎整備敷地の配置 <健康・育み・歴史／文化のまちづくり> 山から湖へ至る豊かな自然や文化・歴史的風土を基礎に、皇子山総合運動公園を中心に公園・緑地でのスポーツ・健康づくりの取組を進め、市民の交流や子どもの健やかな成長を育む「健康・育み・歴史／文化」のまちづくりを展開する。また、庁舎と隣接する公園を一体的に活用することで防災拠点としての機能向上を図る <庁舎整備がまちづくりに寄与すること> ・庁舎との一体利用による運動公園の機能の充実 ～スポーツをされる方だけでなく、健康づくりやスポーツ観戦なども楽しめる機能の充実、 - また、だれもが利用しやすいインクルーシブな空間の創出 ～大会・イベント等開催時の機能（飲食・小売り機能、日陰等憩いの空間等）の充実 ・庁舎と公園の一体的利用による市民交流の空間の創出 ～庁舎のデッキ、ピロティ等と公園を一体的に活用したイベント等によるにぎわいの創出 ・周辺の歴史／文化資源との連携による魅力発信 ～周辺の歴史／文化資源や豊かな自然を活かした「フィールドミュージアム」や情報発信・情報提供等による魅力発信の拠点 ・庁舎と隣接する公園を一体的に活用した災害時の防災力の向上 ～庁舎と公園を一体的に利用することによる防災拠点としての機能向上

③市民WS
(R 6)

【1班】

- ・世代を問わずに気軽に集まれる場所になるようにしたい。
- ・見栄えのいい、ニュースになるような外観に！屋上には眺望スペースがあると良い。
- ・市民と職員が温かくふれあえるような空間になると良い。
- ・カマドベンチ等、を点在させ、災害時の防災機能を高める。
- ・学生や若い人にも使ってもらえるよう、Wi-Fi 整備や映えスポットもあると良い。

【2班】

- ・最上階のフロアは眺望の良いカフェにしたい。その他、中高生が待合できる場所にしたい。
- ・1階は京阪の駅と直結に！また大津市の玄関口として、観光案内機能もあると良い。
- ・フェーズフリーの観点から、非常時・通常時も利用しやすい空間になると良い。
- ・大津の良いところを書いていくような、大津大好き壁をつくりたい！

【3班】

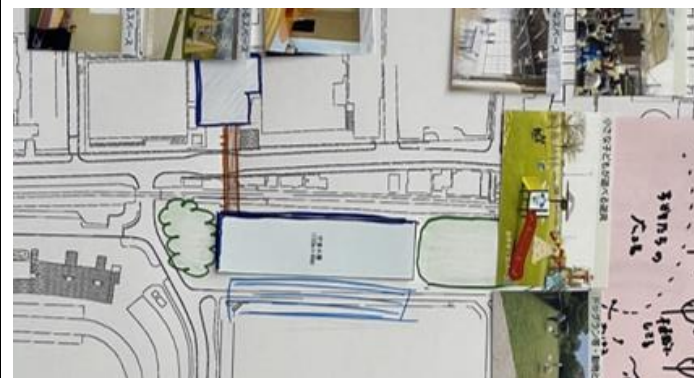
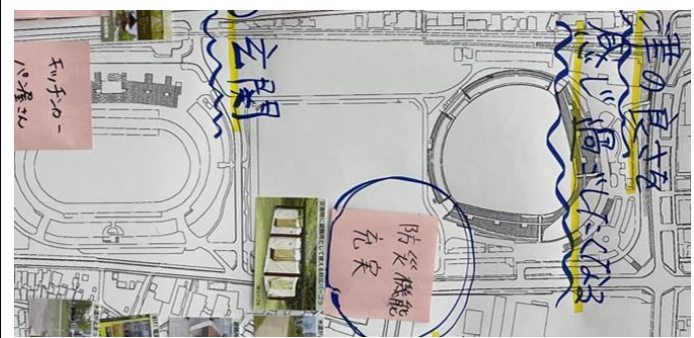
- ・窓口の集約・バリアフリー化により誰もが使いやすい庁舎に！
- ・グラウンドは全面芝生化し、子どもが遊んだりできるように！・大津の魅力を発信できるよう、市民の作品や文化財等を展示できるギャラリーがあると良い。
- ・今ある魅力・過去を受け止めつつ、大津の魅力を未来に伝えていけるようにしたい！

【4班】

- ・公園と庁舎が自然につながっているような場所にしたい！
- ・1階は、屋根付きの広場として、そこにカフェやフリーマーケット、発表の場があると良い。
- ・2階はワンストップ窓口、子ども遊べるように。
- ・3階以上は職員が気持ちよく仕事できるように明るいフロアに。
- ・公園は防災公園としても機能を果たせるようにする

【5班】

- ・現庁舎の敷地を一般駐車場とし、新庁舎と回廊でつなげることで歩車分離を図るのが良い。
- ・新庁舎南側には、小さいこどもたちが遊べる公園を設け、4面グラウンドはそのまま利用。
- ・飲食店は、公園との一体的利用を重視し、庁舎内ではなく、周辺に分散させるのが良い。



④ゾーニングの検討の流れについて

ステップ① (前提条件)

○市民の利便性（自家用車、公共交通機関）

⇒エントランスは京阪大津市役所前駅の近くへ

⇒駐車場は庁舎周辺で確保

※駐車場は利用しやすく（通路・区画の広さ、天候（雨、雪）への配慮）

※台数の確保（公用車：約 100 台、市民用：約 200 台）

○多目的グラウンドへの影響

⇒少年野球（4 面⇒3 面）、少年サッカー（3 面）を確保

○公園との一体性

⇒庁舎と公園の空間的な繋がり

⇒公園利用者が利用する庁舎機能（会議室、トイレ、駐車場など）を想定した
ゾーニング

⇒車と公園利用者や歩行者の動線（庁舎デッキの設置や通路の配置）を分ける

現時点

ステップ② (4 案)

○市民WS の結果（ゾーニングや庁舎機能に求められていること）などを踏まえて、庁舎と駐車場のゾーニングの検討を行う。

⇒4 案

※この段階で示す新たに導入する機能としては『食堂もしくはカフェ、会議室兼ホール』とし、その配置は基本設計時に具体的な検討を行う。

11 月末
(たたき台)

ステップ③ (2 案)

○懇話会（11/25）、推進本部（11/21）を経て、「コスト面や執務スペースの視点から、4 案から 2 案に絞る

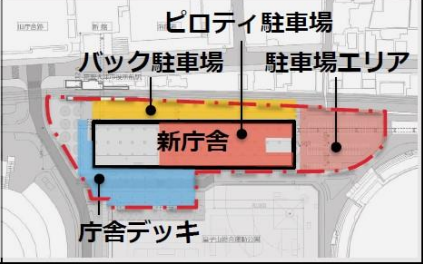
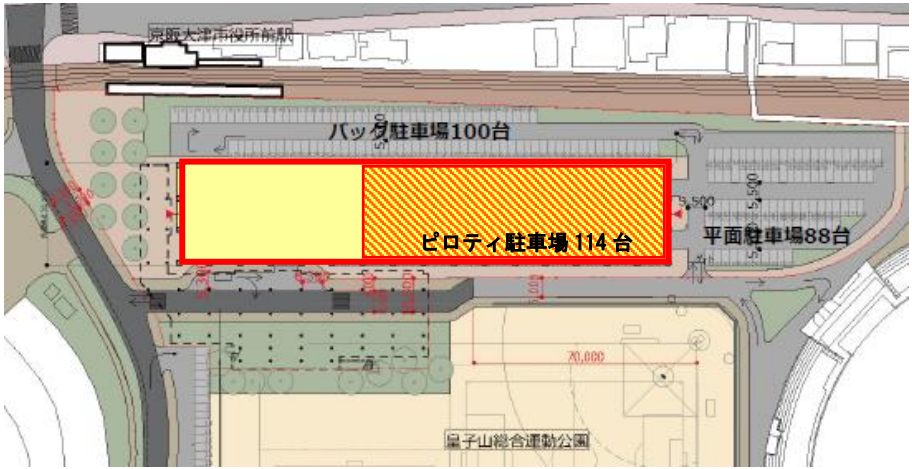
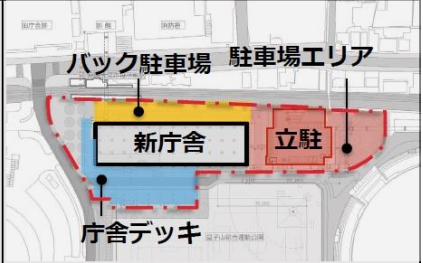
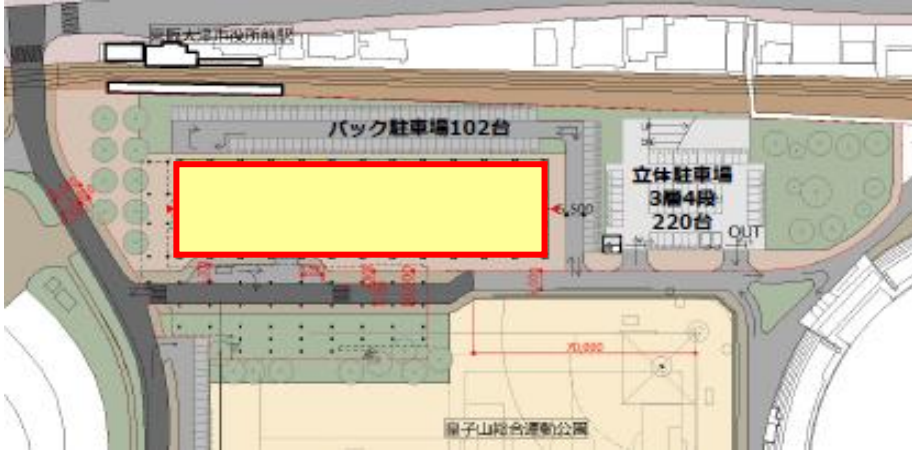
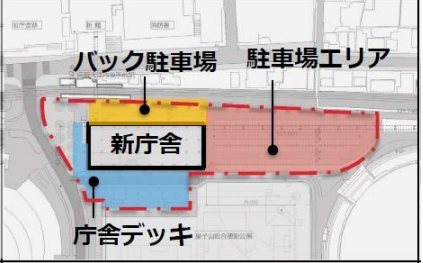
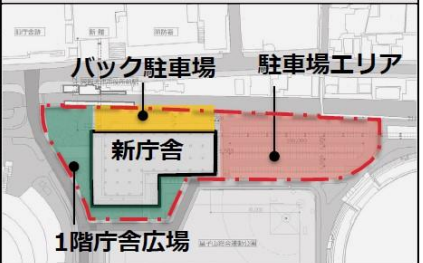
1 月末
(素案)

ステップ④ (1 案)

○懇話会（個別意見：調整中）、推進本部（1/31）を経て、2 案から 1 案に絞る

※ 新館デッキ（新館と新庁舎を結ぶデッキ）や大津京デッキ（大津京駅側入口と新庁舎を結ぶデッキ）については、新館に配置する所属やコスト面（精査中）から別途検討を行う。

④庁舎と駐車場のゾーニングについて

ゾーニング案	コスト (係数)	メリット・デメリット	平面レイアウト	鳥瞰図
①ピロティ駐車場案 建築面積：5,350㎡ 延床面積：25,000㎡ 地上6階建 	103	※エントランス・窓口フロアが2Fとなるが、公園との一体性は庁舎デッキにより実現 ○駐車場からの動線で天候（雨、雪）の影響を受けない ○災害時に駐車場が屋根のある空間として活用できる ○建物高さが最も低い ○1フロアの面積が大きく、フレキシブルな執務空間が実現しやすい △建築面積が大きい為、基礎・土工事増		
②立体駐車場案 建築面積：4,050㎡ 延床面積：25,000㎡ 地上7階建 	100 (基準)	※①と同様に庁舎デッキにより公園との一体性を実現 ○駐車場からの動線で天候（雨、雪）の影響を受けない ○災害時に駐車場が屋根のある空間として活用できる △立体駐車場によるコスト増 ○庁舎本体は効率よく建てられている		
③平面駐車場案 建築面積：3,100㎡ 延床面積：25,000㎡ 地上9階建 	101	※①と同様に庁舎デッキにより公園との一体性を実現 △建物が高度地区高さ制限まで高くなる ○駐車台数は経済的に確保 △1フロアが小さい為、執務室のフレキシビリティは低下する ○庁舎本体は効率よく建てられている		
④基壇テラス案 建築面積：5,200㎡ 延床面積：25,000㎡ 地上9階建 	105	※③をベースに、通路&車寄せを変更しエントランス・窓口フロアを1Fに確保することで庁舎デッキは不要とした △建物が高度地区高さ制限まで高くなる ○庁舎の低層部を囲むように敷地内に広場を設けることができる ○各フロアは小さいが、1Fフロアの面積確保 ○基壇部を利用し、庁舎デッキが不要 △外装面積が大きくなる		